

令和6年度事業報告

I 施設の概要

1 施設概要

施設種別	医療型障害児入所施設
敷地面積	61,665.33 m ² の一部、約 6,000 m ²
延床面積	3,869.31 m ²

2 事業内容

医療型障害児入所（医療法及び児童福祉法）	定員 50 人
療養介護（障害者総合支援法）	R7.4.1 現在 4 人
医療型短期入所（障害者総合支援法）	空床利用
医療型特定短期入所（障害者総合支援法）	定員 4 人
外来診療、リハビリ	
埼玉県医療的ケア児等支援センター・地域センターカリヨンの杜の受託運営 （医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律）	

II 事業の実施概況

1 入所者数の推移

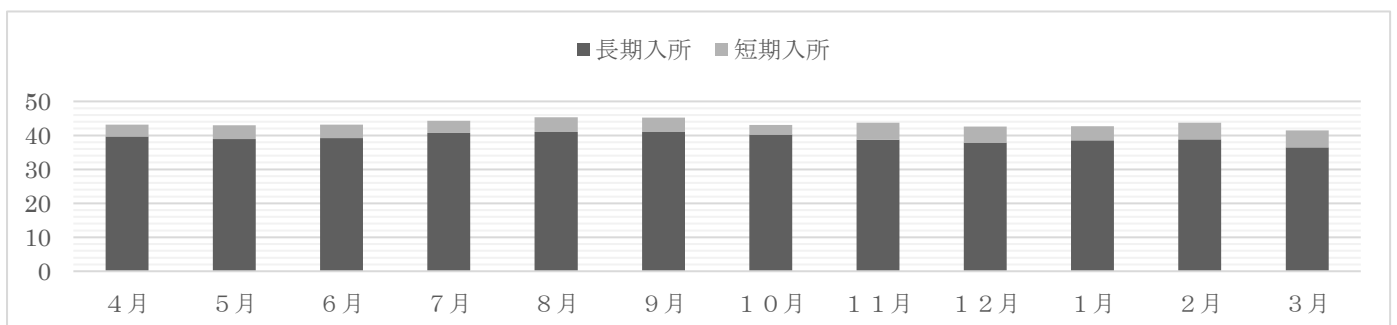
令和6年度の1日当たり長期平均在院者数は39.3人（令和5年度38.0人）で前年度と比べ1.3人増加した。また、短期平均在院者数は4.2人（令和5年度4.3人）で、ほぼ同水準であった。

令和6年度中の新規は、長期入所者が2人（内訳は契約が2人（いずれも児童が2人）で、退所者は契約入所で、1人が3月に死亡によるものだった。

長期入所で10月から12月にかけて減少傾向にある理由は、体調不良で高次医療機関に長期に渡り転院しているためである。

【一日当たりの利用者数の推移】

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	
長期入所	39.7	38.9	39.2	40.7	41	41	40.2	38.7	37.9	38.5	38.8	36.5	39.3
短期入所	3.5	4.1	4.0	3.6	4.3	4.2	2.9	5.0	4.7	4.2	4.9	5.0	4.2
計	43.2	43	43.2	44.3	45.3	45.21	43.1	43.7	42.6	42.7	43.7	41.5	43.5
稼働率	86.4	86.0	86.4	88.6	90.6	90.4	86.2	87.4	85.2	85.4	87.4	83.0	87.0



2 長期入所

(1) 長期入所者の概況

令和7年3月31日現在の長期入所者数は41人（男性25人、女性16人）であり、入所形態は、契約入所29人、措置入所12人である。

年齢別では、未就学児（5歳まで）が10人であり、6歳～12歳が23人、13～15歳が3人、16歳～18歳が1人となっている。19歳以上が4人、平均年齢は11歳である。

居住地別では、さいたま市以外の埼玉県14人、さいたま市15人、東京都9人、千葉県2人、群馬県1人であった。

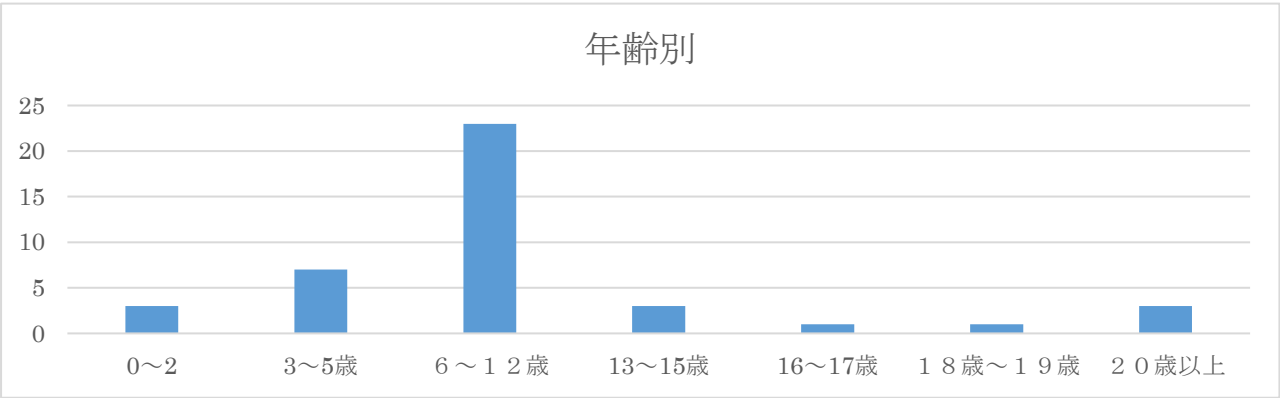
超重症児スコアについては、24点以下の準超重症児が15人、25点以上の超重症児が26人となっている。また、呼吸・栄養の状況については、人工呼吸器管理23人、気管切開33人、経管栄養41人となっている。

長期入所児が、体調不良で入院加療を要する場合は、埼玉県立小児医療センター、埼玉医大総合医療センター、草加市立病院、獨協医科大学埼玉医療センターに救急搬送している。令和6年度の搬送件数は25件だった。

【入所者数】（令和7年3月31日現在）

合 計	41人	男	25人	女	16人
-----	-----	---	-----	---	-----

【年齢別】



【入所形態別】

契約入所	29人	措置入所	12人	一時保護	0人
------	-----	------	-----	------	----

【居住地別】

埼玉県	14人	10市	上尾市2、朝霞市2、春日部市1、川口市2、川越市1、北本市1、久喜市2、東松山市1、八潮市1、吉川市1
さいたま市	15人	5区	岩槻区9、桜区1、中央区3、緑区1、大宮区1
東京都	9人	3区3市	足立区2、北区2、品川区1、調布市1、三鷹市2、八王子市1、
千葉県	2人	2市	旭市1、我孫子市1
群馬県	1人	1市	伊勢崎市1

【超重症児スコア】

24点以下（準超重症児）	15人
25点以上（超重症児）	26人

【呼吸・栄養の状況】

人工呼吸器	23人	気管切開	33人	経管栄養	41人
-------	-----	------	-----	------	-----

（２）入所者の療養生活

病棟全体が「生活の場」としての役割が果たせるよう、各種活動、行事等を多職種で支援を行った。入所児一人一人の個性を尊重し、成長・発達につながるよう支援を行った。

家族のケアの介入についても面会時に吸引などの医ケアの他、食事や排泄、入浴などのケアを家族が行えるようにするなどし、家族と職員で話し合いの機会を設けた。病状の重い子については個別支援会議や家族面談の際に急変時の対応について家族の意向を確認した。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染防止対策は引き続き継続しているが、面会については最大1時間までに面会時間を緩和したこともあり、一人当たりの面会の機会は増えている。また両親だけでなく、きょうだいや祖父母の面会も見られている。引き続き、写真を同封した手紙やメールを送付し、保護者に日常生活の様子の情報提供を行った。

学齢児に対しては、安全な教育の機会が図れるよう、特別支援学校との適宜、連携を図った。

療育部を中心に充実した日常生活と季節感が感じられるような行事、誕生会などの病棟行事、園芸活動、さらに施設全体行事として夏祭り、クリスマス会等を実施した。

3 短期入所

（１）短期入所の受け入れ状況

令和6年10月に職員の新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染があり、一定期間受け入れを停止や制限をしたため、受け入れ数は減少に転じた。

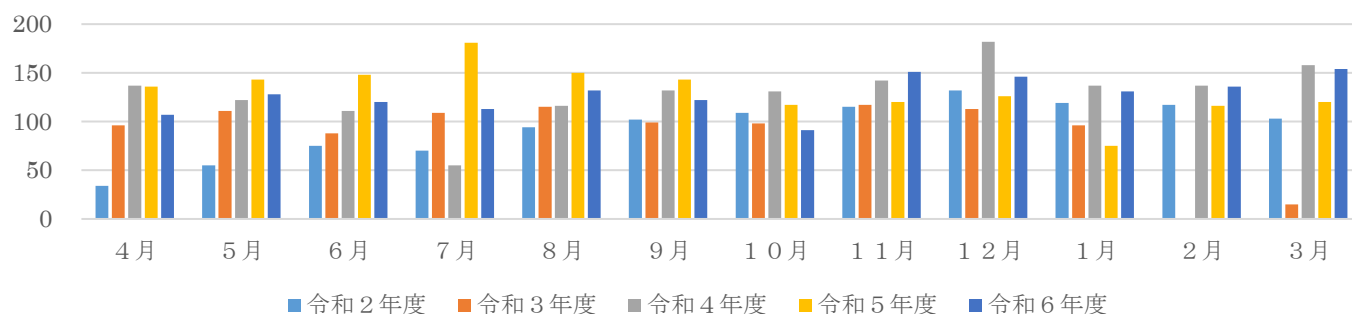
しかし、11月以降は長期入所児童が高次医療機関へ転院した際の空床枠に、短期入所を受け入れたため、受け入れ数が回復した。

それ以外の月は、新型コロナウイルス感染症等の影響もほぼ受けずに、1か月当たりの受け入れ件数はほぼ100人を超えて推移した。

短期入所（ショートステイ）受け入れ状況

短期入所（ショートステイ）受け入れ状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	34	55	75	70	94	102	109	115	132	119	117	103	1,125
令和3年度	96	111	88	109	115	99	98	117	113	96	0	15	1,057
令和4年度	137	122	111	55	116	132	131	142	182	137	137	158	1,560
令和5年度	136	143	148	181	150	143	117	120	126	75	116	120	1,575
令和6年度	107	128	120	113	132	122	91	151	146	131	136	154	1,531

短期入所（ショートステイ）受け入れ状況（のべ人数）



（２）特定短期（にじルーム）の受け入れ状況

今年度の特定短期入所の受け入れ者数は延べ545人となり、前年度503人と比較し8%増と順調な推移を見せた。新規受け入れは無く、リピーターが主の受け入れとなった。

ア 受け入れ状況の変化について

- ①年齢別では、未就学児の受け入れが増加し、6歳以上18歳未満の就学児の受け入れは減少傾向となった
- ②未就学児の増加は、リピーター利用者が主で、継続した支援の必要性が高まっていることが要因と考えられる
- ③判定スコアでは、超重症児の割合が減少傾向にあり、スコア10点未満の利用者の増加が認められる

イ 今後の課題

スコア判定が低く医療デバイスがない場合であっても、個別の食事介助が必要なケースの増加や、活動量の多い児に対しては、安全管理や適切な誘導を行うことが重要である。このような状況を踏まえ、今後もスタッフの配置やサポート方法を工夫しながら、利用者一人ひとりに適した環境を整えていくことが大切であるとする。

ウ デイサービスの活動

- ①ごろりんアートは利用者のご家族から好評をいただいております。毎年内容を工夫しながら継続して実施している。また、利用者の年齢や状態に合わせた制作活動も行っており、デイルームでの過ごし方や制作風景の写真を楽しみにしているご家族が多い。
- ②避難訓練時にはご家族に参加していただくことで、避難時の動きや対応を理解してもらい、安全に利用者をお預かりするための行動を情報共有している。
- ③土曜日デイの実施状況について
 - ・令和6年4～12月は月1回、令和7年1～3月は月2回実施し、年間の利用増加率向上に貢献した
 - ・利用者の約半数は未就学児、次いで6～12歳の小学生が多く、特にリピーターが主であった
 - ・利用希望者が4人以上になることも多く引き続き安定した受け入れ体制を整えていくことを検討する

4 外来患者の状況

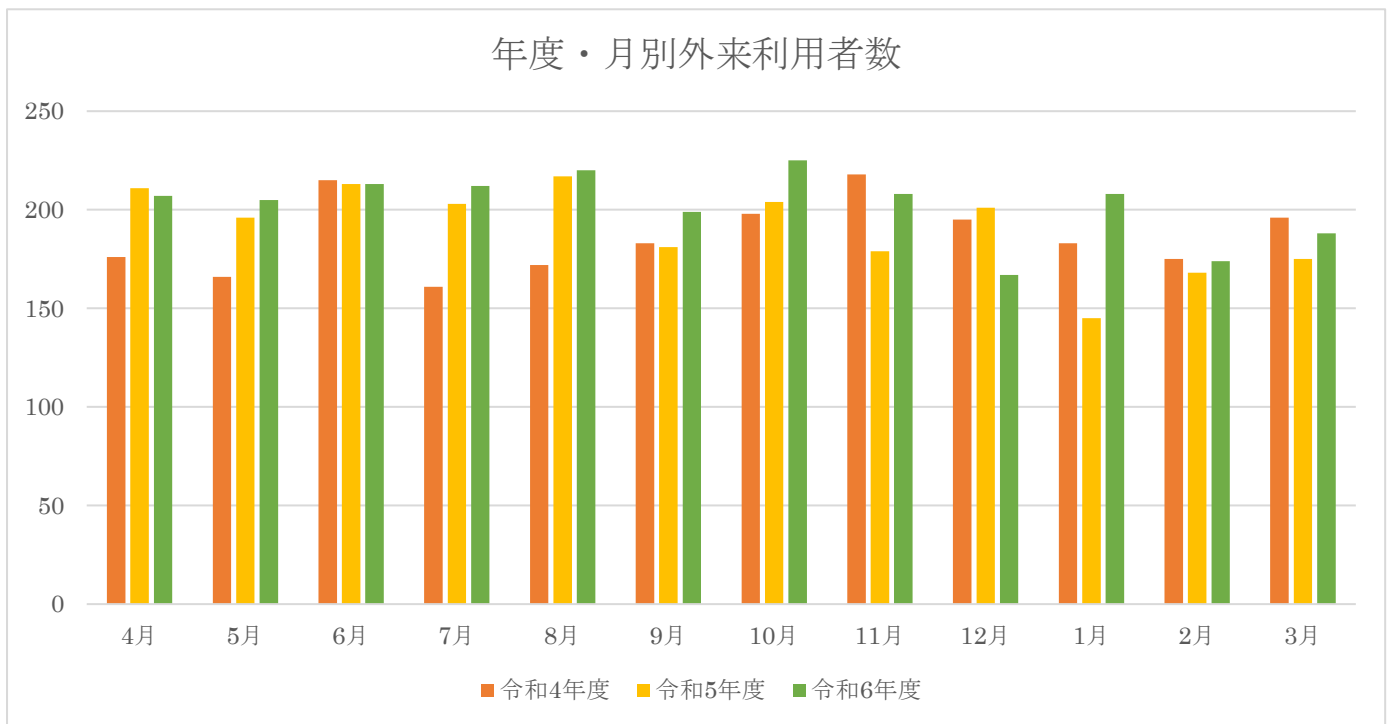
令和6年度の外来患者数は延べ2,426人(令和5年度2,293人)で前年度より133人の利用増となった。

下記の年度患者数表のとおり10月頃より前年度に比較し利用患者数が増えている。12月にやや下向き(短期入所希望者本人の体調不良等が続いた)となったが、翌月の1月には前年度の1月に比べ60名ほどの増となった。要因について、昨年の1月は長期入所者の中でコロナ感染者が発生したため短期入所の利用を制限、更に外来リハビリテーションの受け持ちの先生の体調不良により3週間程の外来リハビリの実施が行われなかったことで大幅な減少となっていた。令和6年度の1月は感染等による制限もなく、通常通りの体制で利用者の受入れができた。

現状、カリヨンの杜の外来利用者は暦により多少の変動はあるが概ね、ひと月の平均利用者数は200人前後であると思われる。

年度患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度	176	166	215	161	172	183	198	218	195	183	175	196	2,238
令和5年度	211	196	213	203	217	181	204	179	201	145	168	175	2,293
令和6年度	207	205	213	212	220	199	225	208	167	208	174	188	2,426



4 埼玉県医療的ケア児等支援センター・地域センターカリヨンの杜（埼玉県受託事業）

（１）概要

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（以下、「医療的ケア児等支援法」という）に基づき、令和５年６月８日より埼玉県からの委託を受けて地域センターカリヨンの杜として事業を開始した。

担当地域は、さいたま市、川口市、戸田市、蕨市の４市で、稼働日時は年末年始を除く平日の９時から１７時まで。

業務内容は、家族等からの相談支援をはじめ、家族等へのアドバイス、市町村や事業所等の関係機関への支援、県センターと連携し研修会の実施や参画、定期ミーティングの実施、地域センター同士の情報共有、情報交換等である。

（２）実施状況（令和６年４月１日から令和７年３月３１日まで）

- ・平日の９時から１７時まで電話・メール・来所による相談を受け付け、相談内容に応じて関係機関との調整をおこなった
- ・相談内容によって、医師や看護師、理学療法士に相談できるサポート体制を整えた。

相談件数

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
保護者	１	０	２	１	２	２	０	１	１	２	０	０	１２
事業所	５	２	１	１	１	３	４	１	２	３	１	５	２９
計	６	２	３	２	３	５	４	２	３	５	１	５	４１

〈主な相談内容〉保護者

- ・短期入所先を探している
- ・入所について教えてほしい
- ・通学支援について教えてほしい
- ・学校の状況について教えてほしい
- ・他市からの転居についての相談

〈主な相談内容〉事業所

- ・訪問看護について
- ・レスパイト先や通所先の情報について
- ・医療的ケア児について学びたい
- ・学校の状況について教えてほしい
- ・他市からの転居に伴った、関係するサービスの調整

（３）課題と今後について

- ・解決が困難な相談にも対応できるよう、関係機関との連携を強化する
- ・家族会と医療的ケア児等当事者家族のマッチングを考えていく

- ・ 家族会同士の意見交換や交流会を行っていく
- ・ 医療的ケア児等コーディネーター同士のつながりの構築と資質の向上
- ・ 協議の場へ参加し、支援の現状や課題を把握し、担当地域へ情報提供していく
- ・ 宮代特別支援学校へ巡回指導を継続する
- ・ 各種職能団体や当者団体の参画を継続する
- ・ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修をはじめ、県センターが主催の関連する研修会に参画を継続する
- ・ 県センターとの定例ミーティングを実施し、課題や実態が把握できたので今後に生かす
- ・ 定例ミーティング等を通して、地域センター同士のつながりを維持する

相談支援以外の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家族支援	1	1	1	1		1				1	1		7
市町村・支援機関への支援		1	1	1			2	3	5	2		1	16
地域の支援体制の整備のための支援	3	2		4		1	3		3	4	1		21
その他（研修・見学・協議会等への参画）	3	3	3	1	2	3	9	3	6	3	4	2	42
計	7	7	5	7	2	5	14	6	14	10	6	3	86

Ⅲ 法人・施設の運営状況

1 理事会・評議員会の開催状況

【理事会】

第1回 理事会	令和6年6月13日 (木) 15:00～	理事 6名 監事 2名	① 令和5年度事業報告及び決算について ② 定時評議委員会の招集について
第2回 理事会	令和7年3月6日 (木) 15:00～	理事 4名 監事 2名	① 令和6年度補正予算（案）について ② 令和7年度事業計画（案）について ③ 令和7年度年度予算（案）について ④ 評議員選任候補者の推薦について ⑤ 経理規程の改正について

【評議員会】

第一回 評議員会	令和6年6月28日 (金) 14:00～	評議員 6名 監事 2名	① 令和5年度決算について
-------------	----------------------------	-----------------	---------------

2 職員状況

(1) 採用、退職の状況

- ・採用 薬剤師 2 名、作業療法士 1 名、看護師 8 名、生活支援員 3 名、業務アシスタント 1 名
合計 15 名の職員を採用した。
- ・退職 薬剤師 2 名、看護師 4 名、生活支援員 4 名、合計 10 名の職員が退職した。

(2) 職員数（令和 7 年 4 月 1 日現在）

職種	常勤	非常勤	合計
医師	2	3	5
看護師	4 3	1 1	5 4
理学療法士	2	0	2
作業療法士	0	1	1
薬剤師	2	1	3
生活支援	1 1	4	1 5
管理栄養士	1	0	1
保育士	2	0	2
児童指導員	1	0	1
児童発達支援管理責任者	1	0	1
社会福祉士	1	1	2
臨床検査技師	0	1	1
事務	7	0	7
合計	7 3	2 2	9 5

3 各種委員会の活動

名称	目的・内容	開催回数
医療安全管理委員会	医療安全対策の総括、安全管理体制の確保・推進	1 2
感染防止対策委員会	感染防止対策の推進	1 2
栄養管理委員会	入所児の栄養管理	1 2
褥瘡対策委員会	褥瘡予防対策の推進	1 2
教育委員会	職員研修の企画・立案	6
災害対策委員会	施設の防災管理、避難訓練等の実施	4
個人情報管理委員会	個人情報管理の運用基準の検討等	3
行事・レク委員会	施設行事、レクリエーションの企画・立案	1 1
虐待防止委員会	施設内虐待・子ども虐待防止に対する職員の意識啓発と研修の企画	2
安全衛生委員会	職員の安全と健康の確保、快適な職場環境の整備	1 2

利用者調整地域連携委員会	利用者の入所等に関する情報共有及び他機関との連携に関する報告、協議	12
放射線安全管理委員会	医療被ばくの適正管理	1
医療ガス安全管理委員会	医療ガスに係る安全管理と患者の安全確保	1
行動制限最小化委員会	利用者の行動制限に関する検討と研修の企画	2
薬事委員会	医薬品の管理と適正使用に関すること	4
倫理委員会	倫理的配慮による患者の人権及び生命の擁護	0
学校施設連絡会	特別支援学校との連携に関すること	2

4 各種行事の実施状況

防災イベント（Ohanaの会主催） 令和6年7月21日（日）

カリヨンまつり 令和6年9月23日（月）参加人数182名

※なつまつりを毎年7月に開催していたが、暑い時期の開催を避けて令和6年度から9月開催とした

クリスマス会 令和6年12月11日（水）外来・デイ 参加人数 39名

令和6年12月18日（水）入所者 参加人数 53名

5 新たな事業の検討

これまでの施設経営を踏まえた、次のような新たな課題への対応が必要と考える。

- （１）18歳を超えた医療的ケア者への対応
- （２）入所者・利用者の社会参画、感動体験の充実
- （３）入所者、利用者の保護者の生活の質の向上

以上の「カリヨンの杜」の課題解決に資することができ、令和3年9月に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の目的、理念に沿った具体的な事業について、令和4年8月から月1回の頻度で施設関係者、家族代表、障害児者支援関係者等で検討会議を重ねて来た。